

有珠山

1 概況

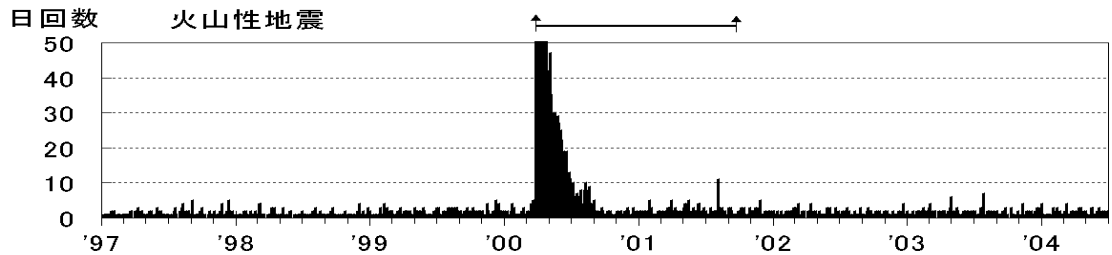
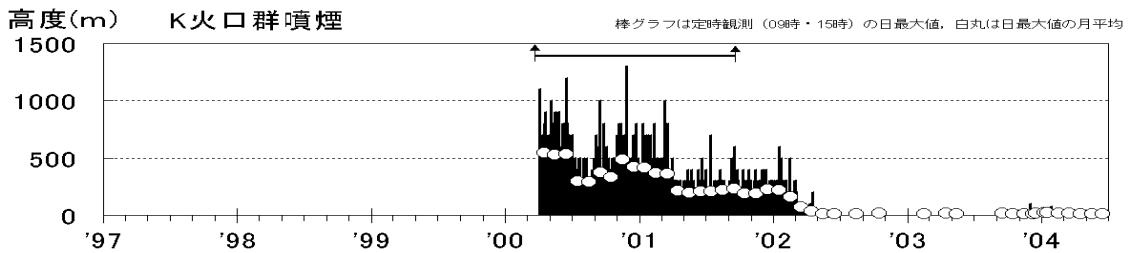
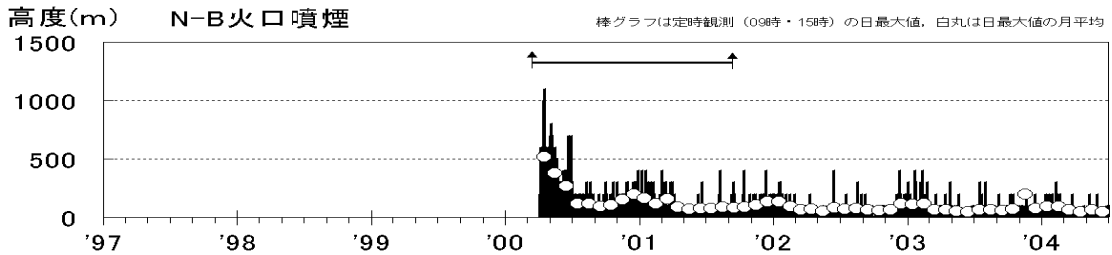
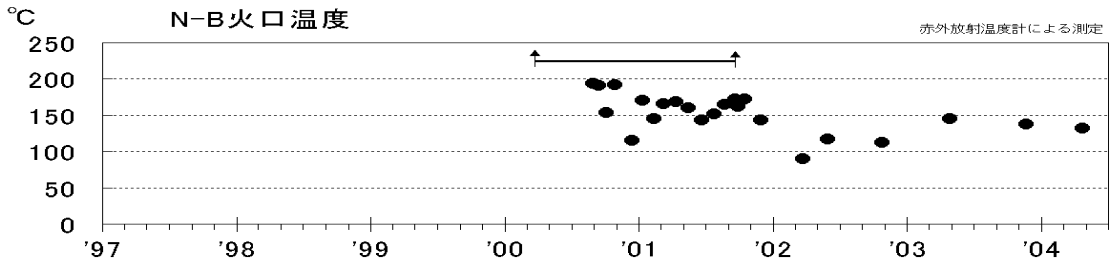
火山活動は静穏な状態が続いています。

2 地震および微動の発生状況

火山性地震の回数は1日あたり0~3回と少ない状態で推移しました。震源はいずれも山頂火口原直下の浅部(海拔下1km前後)に分布しています。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(A点)

2003~2004年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	31	17	18	13	20	22	15	21	20	28	28	23
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



最近の火山活動経過図(1997年1月1日~2004年6月30日)

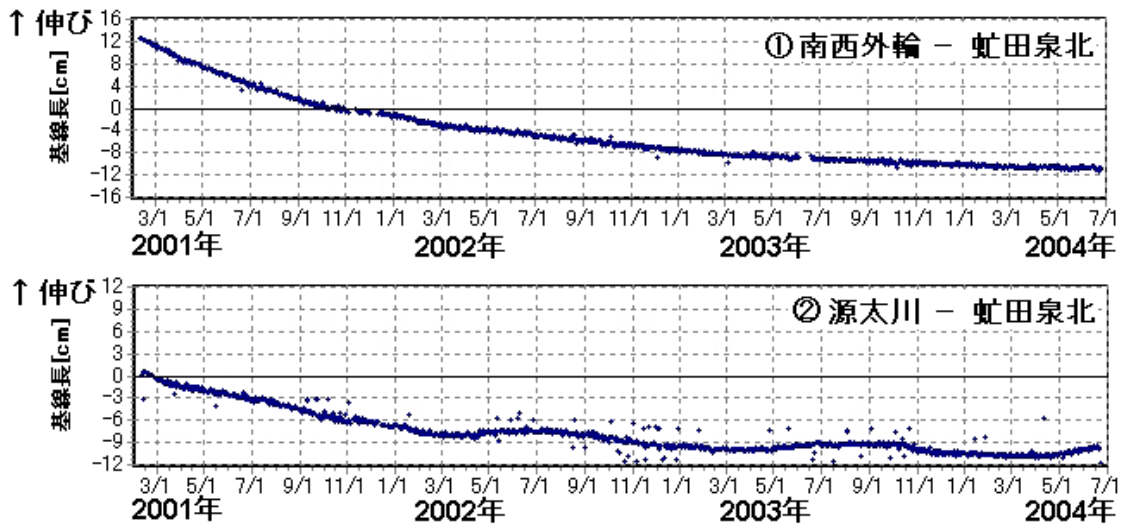
で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 噴煙の状況

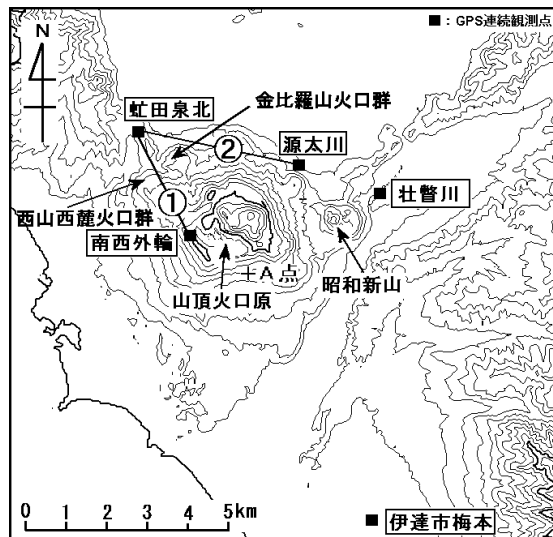
西山西麓(N)火口群にあるN-B火口の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。金比羅山(K)火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。そのほか、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴煙が見られていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。

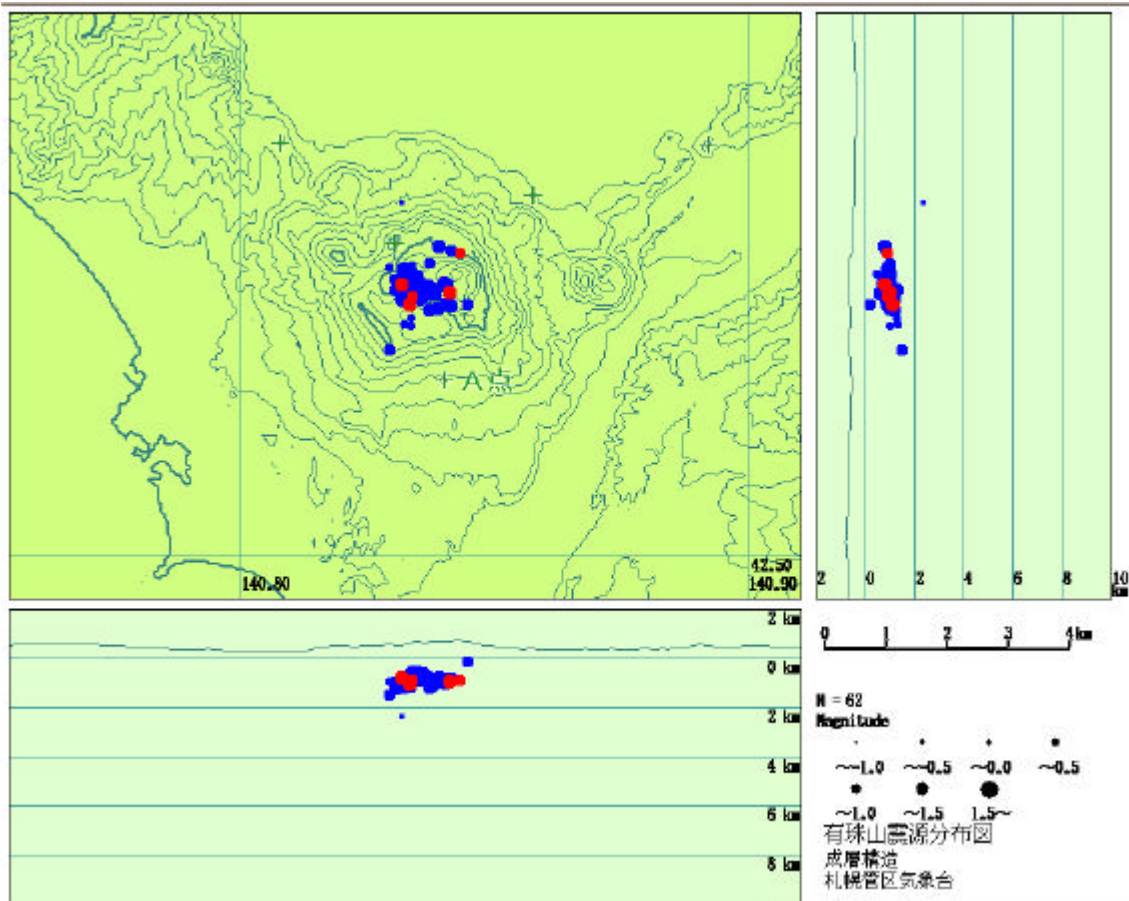
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では西山西麓を中心とする収縮傾向は 2002 年春以降不明瞭となり、その後も特段の変動は認められません。



基線長変化(2001年2月9日~2004年6月30日)





有珠山の震源分布図（丸印：震源 +印：地震観測点）

赤丸は今期間（2004年6月1日～6月30日）に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの1年間（2003年6月1日～2004年5月31日）に求まった震源を示しています。

震源はほとんどが山頂部直下の海拔下1km前後に集中しており、今期間の震源もこの領域内に分布しています。